

小施策評価シート (平成 27 年度実績評価)

施策コード	13	施策名	スポーツの推進	
小施策コード	13-3	小施策名	スポーツ団体等との連携強化	
小施策 主管課等コード	049000	小施策 主管課等名	スポーツ推進課	
評価責任者名	山本 英朝		内線番号	8430
評価シート作成者名	曾根田 雅彦		内線番号	8431

Step 1 小施策の全体像

小施策の概要等（構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり）

現状と課題	スポーツ大会などの企画運営や競技力向上のためには、指導にあたる組織や人材が必要となるため、スポーツを支えるための組織・人材などとの連携を強化する必要がある。
取組の方向性	市民へのスポーツの普及・定着化と競技力の向上を目指すとともに、スポーツツーリズムを推進するため、広域市町、関係機関・団体などとの連携を強化する。
対象 <small>(誰(何)を対象として行うのか)</small>	スポーツ団体等
意図 <small>(対象をどのようにしたいのか)</small>	団体の役割を明確にし、市民のスポーツ活動が活発に展開される環境を作る。

Step 2 成果指標の推移

(↑：数値を上げていくことを目標とする指標， ↓：数値を下げていることを目標とする指標， →：数値を維持することを目標とする指標)

指標項目	単位	25 年度 実績 (現状値)	27 年度 実績	31 年度 目標値	36 年度 目標値
A 市が共催・後援する事業の数 (↑)	事業	193	195	240	290
B 総合型地域スポーツクラブの数 (↑)	団体	5	5	12	24
C ()					

Step 3 市民ニーズの把握

指導者の確保・育成，資質向上が求められている。

Step4 役割分担分析

1 各主体の役割の状況

		役割の内容	役割分担 比率 (%)
各主体の 役割の状況	市	スポーツ団体等の活動支援	30
	国・県・ 他自治体	広域での事業推進への協力	10
	市民・ NPO	スポーツ活動機会の提供	30
	企業・ その他	大会等への支援	30

2 今後の市の役割の比重の方向性とその理由

- 市の役割の比重を拡大していくことを検討する
- 現状維持（現在の市の役割の比重を維持する）
- 市の役割の比重を縮小していくことを検討する

（理由）

スポーツ団体等との連携は、市民のスポーツ活動を活発にするため必要であり、これまでの関係を維持する必要があることから現状維持とするもの。

Step 5 成果・問題点の把握と改革改善案

1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

(1) 小施策の中で成果をあげた点

盛岡広域におけるスポーツツーリズム推進の機運が醸成された。

(2) 成果をあげた要因

スポーツツーリズムガイドの作成や講演会の開催による。

(3) さらなる成果向上に向けて取り組むべき課題（課題がある場合に記載）

平成 28 年度中を目途に、(仮称)盛岡広域圏スポーツツーリズム推進協議会を設立し、盛岡広域圏 8 市町の連携体制の構築に努める。

2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

(1) 小施策における現状の問題点

- ・ 市民のスポーツ活動機会の拡大に向けた支援を行う総合型地域スポーツクラブの創設に繋がっていない。
- ・ 全国大会や合宿の誘致に結び付いていない。

(2) 現状の問題点が生じている原因

- ・ 総合型地域スポーツクラブの創設に係るノウハウを持っている人材が少ない。
- ・ 誘致活動に取り組む組織体制が構築されていない。

(3) 分析した原因を踏まえて取り組むべき課題

- ・ 総合型地域スポーツクラブの創設に向けた人材の育成。
- ・ 全国大会や合宿誘致に取り組む組織体制の検討。

3 改革改善案（上記 1 (3) 及び 2 (3) で設定した課題に対する具体の取組）

- ・ 総合型地域スポーツクラブ創設に向けた研修会の開催。
- ・ 広域のスポーツツーリズム推進に向けた新たな組織の創設。

Step 6 小施策と構成事業の関係性

1 小施策との結び付きが弱い、もしくは他の事業と重複していると考えられる事業

「南岩手山岳遭難対策委員会負担金」

2 1 で記載した事業についてその理由

小施策の取組の方向性と一致しない事業（負担金）であるため。

3 1 で記載した事業の今後の方向性（案）（縮小・廃止・統廃合等）

総務部危機管理防災課への事務移管について検討する。